＜山家さん、今どこやってんの？＞

＊大河原町・０様＊



屋根のカタチが、格好いいです☆



素敵な窓が、気になりますね♪

屋根のカタチや窓の配置が、いつもとちょっと違います♪完成が楽しみですね☆



壁ボードを張っている
藤野君♪



階段取り付け作業中の
勝弘君



床材をカットしている
佐藤さん

＊大河原町・S様＊



古かった浴室をユニットバスに交換♪お風呂時間が楽しくなりました☆

＊大河原町・C様＊



転倒を心配していた子供さんの計らいで、外と内に手すりを設置しました♪



ここにあるのも嬉しいですね☆

あとがき＊　みなさん GW は、いかがお過ごしでしたか？私は、家中をあちこち、少しずつですが、お片付けをしていました。家中に溢れるほどあるモノたちとの暮らしを何とかしないと。と昨年の秋から、お片付けの勉強（整理収納）をしていますが、これがなかなか進まなくて。…結局のところ、お片付けって、暮らしの大きさに合わせてモノたちとお別れをしなければ始まらないらしく、そのお別れが、なかなかできないんですよね…。「それって、本当に必要？」とお別れして、適正な量になったところで、いつでも使いやすいように、定位置を決める。それだけなのですが、それが、なかなか進まないのです。GW は、あけてしまいましたが、「これは、本当に必要なの？！」と、問いかける日々が、まだしばらく続きそうです。　S

山家工務店の
ゆったり時間＊まったり時間
byもくもく通信
2021.5　こいのぼり号
ブログへ

株式会社 山家工務店
代表取締役　山家英富
〒989-1221 宮城県柴田郡大河原町字緑町 2-3
☎0224-52-6680
090-4889-3364
e-mail: yanbe@star.ocn.ne.jp
https://yanbekoumuten.com



こんにちは山家工務店　山家です。
ホーホケキョ♪山が萌え、風香り深呼吸したい季節がやってきました。田んぼは水が入り始め、にぎやかになりつつあります。これが仙南のゴールデンウィークですね、おかわりありませんか？



５月１日またまた強い地震が来ました。私は連休後に始まる工事の挨拶周りをしていましたが、地震です！地震です！と携帯がしゃべったと思ったら揺れ始めました。仙南は震度 4 で大きな被害はないようでしたが、びっくりしました。大丈夫でしたか？
地震被害の修理依頼が増えています。私はお決まりのように地震保険に入っていますか？保険の請求はしましたか？と聞くんですが、大したことないから請求していないという方が、多いんです。一般的には地震発生から 3 年で時効になります、なので 3 年間は請求できるんです。請求していいのかどうか不安な方は 0224-52-6680 山家工務店まで。

ここからは地震保険を請求して保険金が下りた方についてです。地震保険がおりても改修する義務はないようですが、但し注意が必要です。修理をしない場合どうなるのか？地震で今後被害が起きても直さない個所は地震保険の適用にはなりません。保険を勉強している仲間が保険の調査員に指摘されたそうです。直してまた地震被害にあったら損傷程度（損傷が 5%未満だと出ない場合があります）によりますが、また請求できます。すぐにとは言いませんが修理されることをお勧めします。

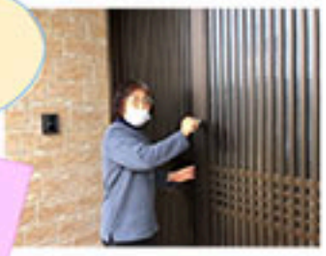
ワクチン接種が始まりつつあります。一般にはまだのようなので感染に気を付け、今月も頑張りましょう！

お引き渡し♪

柴田町
U様



新築おめでとうございます♪





お引き渡しの前の、ご祈祷に立ち会わせていただきました。当日は、朝から雨模様でしたが、ご祈祷の時には、雨も上がり、家の外のお祓いお清めも無事に終えることができました。「雨に地をしっかりと固めていただいたのですよ」「ご先祖様がちゃんと見て下さって、お守りしてくださっているのです。」
そんなあたたかいお言葉に、みんなが、優しい笑顔になりました。





どのお部屋も、お祓い、お清めが終わり、これから安心して暮らすことができますね♪

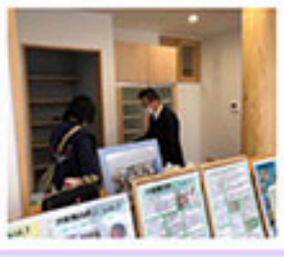
ゆったり＊まったり、おうち時間が楽しくなる家♪
大きなスギの大黒柱が映えるリビングが、印象的です！！植山様の理想のおうちが完成しました☆

植山様のおうちは、どの空間もゆったりとしていて、この先の暮らしの変化にも十分に対応できそうな感じです(*^^*) 収納もたっぷりあって、たくさんの大切なものたちと、安心して暮らすこともできますね。
ドアなどの建具や、キッチンシンク、浴槽の素材など、どの設備も汚れにくく、洗いやすい素材で、お掃除もらくらく！何度も内覧会や展示会に足を運んでいただき、一つ一つ見ていただき、細かい点まで、山家さんと相談されて決められていた姿を思い出します(*^^*)

ゆっくりと時間をかけ、自分たちの暮らしにぴったりな好みのカタチに作り上げていく、理想のおうちづくりだったと思います♪
建ててからも暮らしのちょっとした変化やお困りごとがありましたら、すぐにご連絡くださいね！
これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

完成見学会風景♪

U様のご厚意により、開催させていただいた完成見学会です(^^♪
この2日間は、あいにくのお天気でしたが、理想の家づくりにワクワクの進行中のお客さまから、OBさま。そして、はじめましてのお客さまにも、ご来場いただくことができました☆会場は、特に混みあうこともなく、和やかな雰囲気で、笑顔あふれる２日間となりました。見学会を開催させていただいた U 様、悪天候の中、足を運んでくださったみなさま、本当にありがとうございました。



進行中のお客様は、細かい部分を見ながらの確認です！





耐震ロックの解除は、実際にやってもらうと、わかりやすいですね！



CGで、自分のおうちをイメージしてワクワク♪

山家工務店の歴史

いの七番

山家工務店の始まり
～材料の話　1～



＜家を建てる材料って、昔はどんな風に手に入れたの？？＞

今から約６０年前、富吉さんが独立した頃は、今のように材木屋さんから自由に買うことができませんでした。加工されているものは、とても高価だったのです。
では、どのようにしていたのでしょうか。

山や居久根を持っているお客さんは、その所有している木を、家を作る材料にしていました。富吉さんは、現場に行って、材料を見定め、どの木を使うか決まると、切り方が、始まります。



木を切ると言えば、チェーンソーですが、当時は、モノが高い時代で、チェーンソーは、とても高価なもので、若い富吉さんにとっては、高根の花でした。しばらくの間は、手ノコ（のこぎり）で、地道に「ぎこぎこ」と、切り倒していました。

「手ノコでは、手に負えないような大木は、材木屋から、チェーンソーを借りることもあったんだったなあ」「チェーンソーが、欲しかったんだよなあ」という富吉さん。
木を所有しないお客さんには、材木からの準備が、必要でした。
材料を手に入れることは、大工にとってとても大事なことです。どんな木で作ると丈夫で、見栄えがするのか、富吉さんは、常に考え、暇さえあれば、山や居久根を見てまわっていたそうです。いい山や居久根を見つけると、すぐに交渉し、なけなしのお金でその木を買って、材料にしました。　「売らないなんて言われちゃうと、がんばっちゃうんだよ～」「一日に 100 本以上倒した日もあったんだよ」と笑顔になる富吉さん。
昔はモノの値段が高い時代で、人工（工賃）をかけてもいい時代と聞きました。おでってさんと手ノコで、1 軒分の木材を切り倒していたなんて、とても驚きです。こんな大変な仕事の毎日なのに、大変だったことをお聞きすると、「特になかったかなあ」と言われます。苦労を苦労と感じずがむしゃらに働いていた富吉さん。若いころは本当にパワフルだったんだなあと改めて感じました。

＊山家工務店からのお知らせ＊

■ただいまホームページ工事中です。
5 月末にリニューアルできる予定です♪
全く違う形に変わる予定ですので、驚かないでくださいね！！(*^^*)